

2024年度・後期開講科目

# キャリアと実践

～問いの創出～

これからの社会で生きるを思考を培う科目

これまでの前提が

大きく変化する時代

2024.10

第3期  
スタート

## 「SDGsのその先にある社会とは？」

本授業では、「SDGsのその先にある社会」をテーマに、

1. 現代社会に潜む問題を発見/再定義するための俯瞰的な分析
2. 「SDGsのその先にある社会」にむけた「問い」のデザイン
3. 設定した「問い」と課題に対する解決策を提案

を実施し、受講生チームと参画企業のメンターとの協働を通して実践的に学びます。

2023年度参画企業実績（24年度は確定次第公開）

一般社団法人 エッジソン・マネジメント協会、京セラ株式会社、パナソニック株式会社、株式会社日立製作所、清水建設株式会社、関西電力株式会社、株式会社リンクアンドモチベーション

詳しくはウラ面を

# テーマ『SDGsのその先にある社会とは?』

現代社会は「前例なき時代」と言われ、従来の枠組みでは捉えきれない新たな問題に直面しています。人口増加を基盤にしてきた社会システムに対し、人口減少社会をどう描くかなど、これまでにない「ミカタ」「枠組み」で世の中を再定義する必要があります。そのためには、自分たちが生きるこれからの社会像を描き、その社会の実現に向けた「問い」を立て、その解を、自らが創り出すことが求められます。本授業では、大学や産業界の枠組みを越えた学びの中で、自分たちが生きるこれからの社会について考えます。そして、その実現にむけた「問い」をデザインすることで、これからの社会で生きる思考力を培います。

「SDGsのその先にある自分たちの社会」をテーマに、

1. 現代社会に潜む問題を発見/再定義するための俯瞰的な分析
2. 「SDGsのその先にある社会」にむけた「問い」のデザイン
3. 設定した「問い」と課題に対する解決策を提案

を実施し、どのような「問い」をたてたかを重視しています。受講生チームと参画する企業メンターとの協働を通して、社会で生きる思考を実践的に学びます。特に社会人メンターからのフィードバックは、自身のキャリアを考える上でも、貴重な機会になります。教員・社会人メンターと共に、これからの社会について考え抜きましょう。

## 2024 SCHEDULE

一部予定含む

### 受講対象

主に学部・学域 1~2年生 (3~4年生も受講可能)  
開講対象：大阪公立大学(学部・学域)・大阪府立大学(学域)在籍生。  
※大阪市立大学在籍生(4年)も参加可能です。

### 定員

受講定員：30名まで  
※事前説明・相談会に参加の上で履修登録を行って下さい。

### 参画企業

2023年度実績：6社が参画。  
チームにつき1名の社会人メンターが、プロジェクトを伴走します。

これまでの参画企業については、下記QRの事前説明会参加申し込みフォーム内に記載しています。ご覧ください！

事前説明・相談会  
9月26,30日,10月2日(杉本,なかもず両キャンパス)

10月12日(土) 10:00~17:00  
(会場：中百舌鳥キャンパス/学術交流会館)

オリエンテーション・チーム形成ワークショップ・課題提示

チームで次回にむけた課題に取り組む(期間中1度,担当教員とチーム面談を実施)

11月16日(土)10:00~17:00 問題発見ワークショップ  
(会場：杉本キャンパス/高原記念館 学友ホール)

11月から企業メンターが各チームに加わり、メンターからのアドバイスやフィードバック、意見交換を通じて課題に取り組むことで、社会で必要とされる視点を形成します。

チームで次回にむけた課題に取り組む(フィールドワーク含む・課題取り組み期間中1度,担当教員/企業メンターとチーム面談を実施)

12月26日(火)10:00~17:00 問題設定ワークショップ  
(会場：I-siteなんば)

チームで次回にむけた課題に取り組む(期間中1度,担当教員/企業メンターとチーム面談を実施)

2月7日(金)13:00~17:30 成果報告会  
(会場：I-siteなんば)

これまでの取り組みの成果をまとめ、報告します。企業メンターのほか、このプロジェクト関係者が参加されます。

※2月7-8日：報告会に向けた発表準備(練習)をチーム毎に時間を設けて実施

2月8日(土)9:30~12:30 リフレクション・目標設定  
(会場：I-siteなんば)

全活動の振り返りを行い、次のステージにむけた目標設定

14:00~17:00 同じプログラムを実施している  
大阪大学の受講生との交流企画を実施します。

### 参画企業からみなさまへ

脱炭素化やAIやロボットとの協働など、働き方を含め企業も大きな変革がもたらされる時代です。今まさに興ろうとしている産業構造の変化を突破するためには、一人ひとりが、常識や前提にとらわれず新たな価値を生み出す力が必要です。この授業では大学と産業界が共に学び合う場をつくり、これから時代を創造し牽引する人材の育成を目指します。一緒に次の社会や今後のキャリアについて考えましょう。私もワクワクしています。

一般社団法人エッジソン・マネジメント協会 理事  
京セラ株式会社 東京事業所長 兼 産学連携推進部責任者

大西 実

### 参加を検討している学生みなさまへ

まずは、事前説明・相談会にご参加下さい。

「どんな授業なのか?」「授業終了後の展開は?」「参加方法 / 日程面で気になること」など、受講にあたっての質問や不安な点に対して事前説明会では回答します。この授業を通して社会の壁を感じつつ、参加する仲間と共に自らの成長や新たな可能性を感じましょう。

◀事前説明・相談会の参加登録は、左の QR コードから登録をお願いします。



参画企業情報は、説明会参加登録フォーム内に掲載!

## 2024年度・後期開講科目

# キャリアと実践

これからの社会で生きるを思考を培う科目



この授業は、一般社団法人 エッジソン・マネジメント協会  
(<https://www.edgison-management.jp>)  
および、参画企業等とともに実施する科目です。



この授業は、三菱みらい育成財団の助成を受けて実施します。  
助成プログラム名「転換期の社会に求められる力を培うための産学連携型教育プログラム:QBIC」  
(34003) 大阪公立大学 国際基幹教育機構 高度人材育成推進センター

## 2024年度 受講生募集

転換期の社会に求められる力を培うための  
産学連繋型教育プログラム:



Question-Based Innovation and Career education program for societal transition (キュービック)

“解  
“  
のない時代

「問いを立てる力」と「学び続ける力」を伸ばす

# 『キャリアと実践』

失敗すること、  
考え直すことの  
大切さを学べる場所

終わった後の  
達成感が半端ない

この授業を  
ひとことで  
表現すると!

「キャリアと実践」で得た  
知識・思考法・経験はこれ  
から生きていく上で重要  
なものになります! この  
授業に興味を持つ方の他、  
何か成し遂げたいと思う  
方、何か変わりたいと思う  
方、キャリアというものに  
触れたい方には是非是非お  
勧めします!!

とても大変な期間になると  
思います。しかし、この期間は今  
まで体験したことのないもの  
になり、社会人メンターさんか  
らの言葉はこれから生きてい  
く中でとてもためになります。

先輩受講生からの  
おすすめポイント!

「問う」という  
ことへの入り口

自由と成長

自分で作る  
ジェットコースター

烏兔匆匆

この授業を受講するにはそれなりの  
覚悟がある人だと思います。どのような  
覚悟だとしても、主体的に学んでい  
こうとする姿勢がとても大切です。  
少しでも迷っているのならば、一歩  
踏み出して受講してみてください!  
この授業でしか得られない経験がた  
くさんあります。

成長したいという意欲  
がある人にはもってこ  
いの授業です。きっと  
最後には「楽しかった!」  
と言えるようになります。  
社会に散らばって  
いる問題を自ら手に  
とって考える力を、こ  
こで磨きませんか。

しんどいけど、  
きっと成長できる!

超忙しいけど  
ハイリターン

最後までやり遂げて  
こそこの授業

単位は他の授業でも取れますが、  
この授業でしか得られない学び  
がたくさんあります。

# QBICプログラム 2024年度スケジュール

※実施日程が変更になる場合があります。プログラムの詳細は、大学のシラバス等で確認をしてください。

自らの視点で社会の中の問題を再定義（問題発見）する

他者との学びあいを中心に「問い」を社会に対して実践する

## 01 問いの創出

主な対象：1～2年生

Step-up  
プログラム

科目名

キャリアと実践1

第1回目	10月12日(土) ※
第2回目	11月16日(土) 午後
第3回目	12月26日(木) 午後
第4回目	2月7日(金) 午後
第5回目	2月8日(土) 午前
2月8日(土) 午後 大阪大学との交流プログラム実施	

※=10時30分～17時 午前=9時00分～12時30分 午後=13時～17時30分

## 02 問いの実践

主な対象：2年生

Jump-up  
プログラム

科目名

キャリアと実践2

大阪大学との協働開講、合同チームを形成します。

new!

第1回目	4月20日(土) 全日
第2回目	5月18日(土) 全日
第3回目	6月15日(土) 全日
第4回目	7月13日(土) 全日

全日=9時30分～17時30分



### 授業アンケートより

Q

授業を受けたことで感じる成長を教えてください！

A

チームでの経験を経て、自分には何が得意で何が不得意かがわかった。

A

自分の意見を主張するだけでなく、チームを考えた言動により全体を円滑に回す力が得られた。

A

様々な困難があり、それに対応することを迫られ、乗り越えられた。

Q

授業を終えての満足度は？

A

将来に繋がる知識、考え方、経験が出来、満足している。

A

プロジェクトや意思決定などの練習をすることができて良かった。

A

成長には繋がったけど少し大変過ぎた。

Q

メンターから学んだことを教えてください！

A

物事を抽象的に一般論として分かりやすく説明する重要性。

A

ビジネスで重要にされている考え方や視点。

A

まず何を「優先するか」という考え方。

Q

授業で印象に残っていることは？

A

私たち自身の考えがステレオタイプに囚われていることに気づいたこと。

A

授業に参加した学生の多様性。自分だけだと選ぶことがなかっただろうテーマに取り組む機会を得ることが出来た。

A

様々な視点を持ったメンターの方々から指摘をたくさんもらえ刺激になった。

Q

授業全体の感想は？

A

4回目のワークショップが終わったあとの達成感がとてつもなく大きかった。

A

授業の掲げる理想や自発的な行動に任せる授業スタイルが良かった。

A

本当に大変すぎた授業だったが、ただ席に座って講義を受けているだけでは得られないものを頂けたなと感じた。

A

普段の授業では決して得られない、質の高い問いを立てること、チームで社会問題について本気で考えるとてもよい機会だった。

A

自分に何が足りていないとか、何が得意なのかなど、自分自身を知る機会でもあったと感じ、自己成長に繋がった。

※2023年「キャリアと実践1～問いの創出～」(大阪公立大学)の取り組みから

プログラム問い合わせ先

大阪公立大学 国際基幹教育機構/市田(いちだ) h.ichida@omu.ac.jp